



年間重点目標  
廊下は静かに右側歩行をしよう  
月の生活目標  
教室移動を静かにしよう  
月の保健目標  
見つかった病気を早く治そう

## よりよい つばさ小学校の教育活動に

校長 浅野 博一

「校長先生！初めて73回（縄跳びの前跳びが）跳べたよ!!」  
…子どもの笑顔が輝きました。

4月業間休み、1・2校時の学習を終え、子どもたちが運動場に出ていくと、ドッチボールや鬼ごっこのほか、様々な運動にチャレンジしている姿がありました。

年度当初、本校体育部の職員が、昨年度の新体力テストの結果を踏まえ、つばさ小児童の“運動の日常化”と“様々な運動に慣れ親しむ”こと等をねらいとして、縄跳びジャンプ台の設置・一輪車、竹馬の使用・逆上がりベルト、鉄棒緩衝材の使用等を職員会議に諮りスタートしたのです。今後、的あてや、ドッチボールコートのコートを設置していく予定です。

体育活動の充実のほか、本校では、特別支援教育も充実が図られています。

本市の特別支援教育の推進をねらいとする「さいたま市特別支援教育研究ネットワーク実践発表」では、つばさ小学校が、北区の小中学校の代表として選ばれ、全市に向けて実践発表を行います。

発表は「自分のことを見つめよう」【自立活動】ですが、今回の学校日よりでは、10組が取り組む「紅赤保存の会」と連携した今年の「さつまいも栽培」についてお知らせします。

かつて江戸時代の「享保の大飢饉」の際、サツマイモ栽培が盛んに行われていた薩摩藩では、一人の餓死者も出ませんでした。

それが世間に知れ渡り、時の将軍・徳川吉宗も、サツマイモをお膝元の関東でも作らせるようになりました。

時は流れ、江戸後期には、焼きいもの大ブームがおこり、江戸っ子の冬のおやつといえば、焼きいもとなりました。

さて、10組が今年、取り組む「紅赤」ですが、さいたま市発祥のサツマイモで、明治31年に、山田いち さんによって発見されました。外観は真っ赤で、中は黄色、甘く「サツマイモの女王」と呼ばれています。

【紅赤いも歴史物語】→

5月1日は「さいたま市民の日」です。郷土の歴史や文化に親しみ、市民としての一体感等を高めることなどが期待されます。そこで、「紅赤」の歴史をご紹介します。



1863(文久 3)山田いち、北足立郡木崎村針ヶ谷(さいたま市北浦和)の畳屋の子として生まれる。この家には、5反ほどの畑もあった。

1875(明治 8)いち、12歳。父が亡くなる。いち、3人姉妹の長女。畑に出て、母と一緒に働く。

1881(明治 14)いち、18歳。おむこさん・啓次郎を迎える。夫が畳屋を継いでくれたが、畑仕事までは手が回らないので、いちが担当した。

1898(明治 31)いち、35歳。サツマイモ「品種：八つ房」の収穫中に、土の中から突然、表面の色が特別濃く、目の覚めるような美しいイモが現れた。試食すると、「八つ房」よりもっと上品でおいしく、うれしくなる。

1900(明治 33)いち、37歳。東京の市場へ出すと絶賛され、びっくりするほどの高値で、飛ぶように売れた。のちに、「紅赤」と名を付ける。

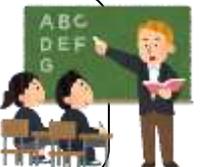
1931(昭和 6)いち、68歳。サツマイモの最優秀品種は、西日本の「源氏」東日本の「紅赤」となる。

本年度も、つばさ小学校の教育活動がよりよいものとなるよう、全職員で工夫改善に努めてまいります。

温かいご理解、ご協力をお願い申し上げます。

つばさ小学校 外国語指導助手 (令和6年度末まで) は

4月中旬 さいたま市立仲町小学校 と  
さいたま市立針ヶ谷小学校 に着任(兼任)しました。



～小中一貫教育 派遣教員の紹介～

さいたま市立日進中学校 国語科 教諭  
◆7・8・11・2月 火曜日の3・4校時、高学年を主に担当します。  
さいたま市立日進中学校 体育科 教諭  
◆6・10・1月 木曜日の2・3校時、高学年を主に担当します。

## つばさ小学校の様子

<<徐々に学校生活に慣れてきています>>

1年生がつばさ小学校に入学して1か月が経とうとしております。学校たんけんや給食など初めて経験することもあることでしょう。学校での様々な活動を通じ、笑顔いっぱい学校生活を送っています。



初めての給食



学校たんけん

<<1年生を迎える会>>

先日行われた1年生を迎える会では、笑顔いっぱいのお兄さん、お姉さんが1年生を迎え入れてくれました。吹奏楽による迫力ある入場曲にどきどきしながら入場しました。2～6年生の呼びかけによる歓迎のメッセージをいただきました。



<<離任式>>

4月25日(金)にお世話になった先生方をお迎えして、離任式を行いました。児童が心を込めて書いた手紙と色とりどりの花束を先生方にプレゼントしました。先生方からは、近況報告とともに、児童に向けての温かなメッセージをいただきました。

